

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 そら		公表日		2026年 2月 16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		1階フロアに10名分の机と椅子を配置し、10畳の和室含めて活動スペースがあります。2階では6畳の個別療育室が2部屋で適切です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		保育士1名、児童指導員2名を配置した上、子どもさんの状況によっては、元支援級担任を1名配置して行動観察を行います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		おはようの会集と口腔機能訓練、発声訓練、手指の訓練、絵本の読み聞かせは机上で行います。和室での自由遊び、2階の個別療育室、全室バリアフリー化と言った特性に配慮した空間となっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		家庭的で安心して過ごせる工夫をしています。活動量の保障に広い庭あそびも取り入れています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		人員配置も十分あるため、年長になったら1対1の「言葉の部屋」で療育します。体調に応じて休息する部屋も用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		勤務体制を考慮の上、全職員で業務改善に向けて意見交換を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表から読み取れた事柄を事業所の改善点として毎年努力しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々の打ち合わせの中で、全員が意見を出し合える関係性のもと、改善に向けて努力しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		第三者による外部評価は、課題となっています。次年度には配置します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		強度行動障害支援者養成基礎研修を3名が修了する機会を持ちました。法人内部では理事の教育学博士から事例検討含めて研修の機会を確保。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		5領域に根差して、それぞれの子どものさんの発達段階を踏まえて、協議の上適切に作成、公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		日々の振り返り、保護者様からのご意見に基づき課題を見極め、子どもさんの最善の利益を念頭に計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童発達支援管理責任者と日々の療育スタッフが常に情報共有の上、意見を交換した上で特性に配慮した個別支援計画を作成します。	子どもさん理解に向けて、必要な時は専門的経験豊富な内部のアドバイザーを活用しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画作成の担当者会議で共有し、打ち合わせ会議で広く情報共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		検査結果とアセスメント力の向上を目指した観察会議の上、作成したアセスメントにより子どもさんの適応行動を確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		本人支援では、今最も重要な課題は何かを検討した上で、必要な具体化した支援の内容及び5領域との関連性を明示して設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		複数のメンバーでプログラムを立案し、状況によっては予備の案も考案しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		5領域を基にして、具体的活動を盛り込んでいます。	予定している活動と子どもさんの状態を勘案の上、適切な提供を心掛けています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		日々の子どもさんの姿を観察し、必要な時は個別で本人主体の遊びや、小集団による社会性の発達を促すゲームを取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前には、打ち合わせを入念に行い、安全を確保した活動内容と役割分担を取り決めチームとしての連携を重要視しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		その日の活動内容の報告と、支援で問題となった事柄は、協議の上、改善に向けて新たな取り組みを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		指導記録として日々の活動とその根拠を明確にしてお伝えしています。業務日誌においては支援の検証および改善点を記録します。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングと、子どもさんの状態に変化があれば適切にモニタリングの上、支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		医療機関にも必要であれば同行受診しています。保護者様同意のもとで、関係機関と連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		支援内容共有のための情報共有を常に行っています。問題があれば、必要に応じて連携会議を行います。	官民一体となったインクルージョン推進への理解と支援が望まれます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		地域の支援級へは、個別支援計画の情報を提供しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		必要であれば、具体的事案について協議を行っています。	今後とも、積極的に助言を受けていきたいところです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	積極的に連携の機会を作っていくため、地域の児童館や公園に出かけていたましたが、コロナ以降、寸断状態です。	地域で受け入れて下さる園を探します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時には、時間が無く十分伝えていませんが、その分タイムリーに保護者さんと課題などをラインで共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		問題があれば、タイムリーにご家庭に駆け付けお話を聞かせていただき、対策を協議したり具体的な養育スキルを提示します。	小規模の事業所のため、グループでのペアレントトレーニングは行えていません。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時には丁寧に説明させていただいています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		事前にお話を聞かせていただき、ご意思の確認をした上で、成長期にある子どもさんの行動と特性に配慮した作成を行っています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		課題を共有して、支援計画に示し、丁寧な説明の上、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		年1回の定期的面談の他、子育ての悩みや、相談を随時受け付けています。学校に向けての専門的な相談には元教師が対応します。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	父母の会は存在しません。保護者様交流の場として面談会の合間に気軽なティータイムの時間を設けています。	保護者様交流の場を提供する上で、今後とも工夫を凝らしていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		保護者様からの相談などには、迅速な対応を心掛けています。	学期ごとに、相談受付の日を決めて周知徹底を図ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		夏休みや春休みの過ごし表として、活動内容の周知を行っています。月の予定に関しては随時ラインを通して発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報のファイルは、鍵付きの保管庫において保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		電話、ライン、手紙、面談など、あらゆる手段を駆使しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	地域学区の避難訓練に参加して、事業所の内容を理解していただくなど、積極的に地域に入っていくようにしています。	小規模ゆえに、地域住民の招待などは、計画していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルに基づき、定期的に、想定した訓練を実施しています。	送迎時の待避所として、公共機関を目印に地図を作製します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		自然災害や感染症蔓延防止の業務継続計画を策定、普段から避難訓練などを行う事で、子ども達に非常時の行動を訓練しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時には必ず確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食事の提供はしていませんが、非常食においては、念頭に置いた対処をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、災害時の対応、不審者対応、感染症防止のための研修や訓練に普段から取り組んでいます。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		契約時において想定される子どもさんの行動から、どのように安全確保を行うか協議の上、具体的取組を共有します。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		日々の振り返りで共有された事案をヒヤリハットに各自が記載します。再発防止のための改善点を確認しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を設置し、研修を企画し、当事者意識に基づいた内容に迫るため、グループワークを実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束等の適正化のための指針を作成し子どもさんや保護者様に事前に十分説明、了解の元、児童発達支援計画に記載しています。		